

Audio & Visual

Digital
Contents

Show
Business



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

インターネットのブロードバンド化に伴うオンライン配信ビジネスの拡大、地上デジタル放送やワンセグ放送の本格スタート、家庭用ゲーム機の新機種リリースなど、当社グループをとりまく環境は、大きく変化しています。

こうした状況で迎えた当中間期は、音楽映像事業におけるマスターライセンス（映像著作権）資産の二次利用収入の増加や、マスターライセンス作品のDVDリピート受注の好調な推移、デジタルコンテンツ事業における英国子会社の大幅な売上拡大、舞台公演事業の堅調な推移など、事業の裾野を広げる成果を上げることができました。

また、連結子会社の吸収・合併やアミューズメント事業の譲渡、カンパニー制の導入など、グループ事業における選択と集中を図り、経営効率と財務体質の改善に努めてまいりました。

こうした取り組みの結果、当中間期の連結業績は、売上高5,016百万円（前年同期比1.2%増）、経常損失368百万円（前年同期経常損失557百万円）、当期純利益518百万円（前年同期当期純損失591百万円）となりました。

■ 新たな飛躍に向けた中期経営計画をスタートしました。

当社グループは、音楽・映像・ゲーム・舞台公演の創造を通じ、世界中の人々と喜びを共有することを使命と捉え、「音とゲームと映像を融合させた新しいエンターテインメントの創造」を経営理念としております。

さらに当中間期は、「激しいメディアの変化に対応できる強力なコンテンツホルダーへ」の変革をビジョンに掲げた中期経営計画の初年度として、5つの重点施策に沿った成長戦略をスタートしています。

また、当社グループの競争力の源である良質なコンテンツの提供に経営資源を集中させる目的で、事業の再編を行いました。「舞台公演」を新たにセグメント化し、「音楽映像」「デジタルコンテンツ」とともに当社グ

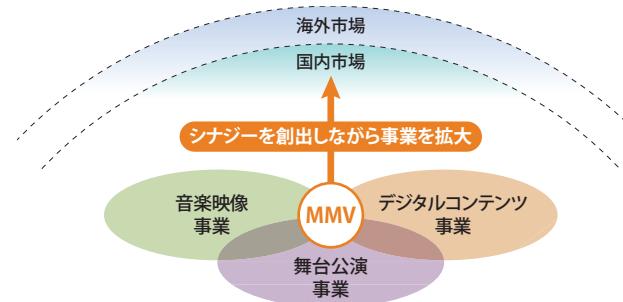
- 中期経営計画の重点施策
- 変化するメディアへの確実な取り組み
 - ライブラリの多角的な活用
 - 舞台興行の拡大展開
 - オンラインゲーム事業への参入
 - 海外売上の拡大

激しいメディアの変化に対応できる 強力なコンテンツホルダーへ

代表取締役社長兼CEO 中山 晴喜
Haruki Nakayama

ループの事業ポートフォリオの3本柱と位置づけ、シナジーを創出しながら国内市場と海外市場における事業拡大を推進しています。

さらに経営管理面においては、当中間期より「社内カンパニー制」を導入しました。オーディオ&ビジュアルカンパニー、デジタルコンテンツカンパニー、内部統制や人材育成など経営サポート機能を担うアドミニストレーション部門の3つから構成され、各カンパニーに予算管理の権限を委譲することで、グループ企業を横断した協働体制に基づく「迅速な意思決定とアクション」を強化しています。



■ 市況の変化を確実に捉え、 通期での増収増益を目指します。

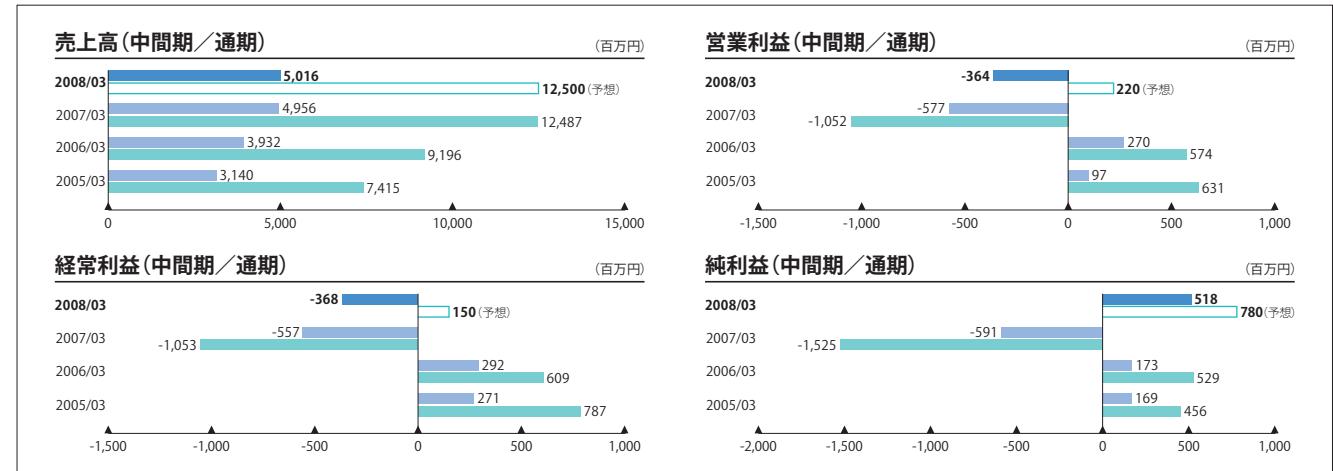
事業・組織体制を整え、下期でのさらなる業績向上を目指し、各事業部門では、引き続き5つの重点施策を推進いたします。

音楽映像事業では、マスターライセンスの拡充・多角的な商品展開を図るとともに、音楽・映像配信への作品供給を推進していきます。デジタルコンテンツ事業では、当中間期に売上拡大を果たしている欧州市場に続き、巨大マーケットである北米市場への本格進出に向けた基礎づくり、オンラインゲーム市場に向けたキラコンテンツ「牧場物語」などの配信準備を進めています。舞台公演事業では、新たな事業の柱として、シリーズ公演、新作公演を拡充してまいります。

これらの取り組みを継続することで、通期ではグループ連結で売上高12,500百万円、営業利益220百万円、経常利益150百万円、当期純利益780百万円を目指す所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

財務ハイライト



コンテンツ資産の多角的な活用で利益を創出。 経営効率の改善効果が徐々に現れております。

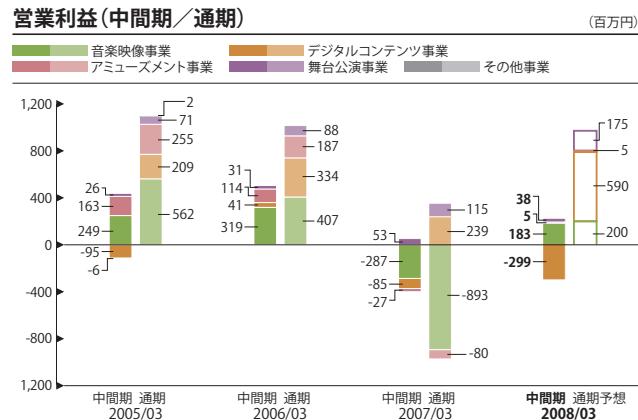
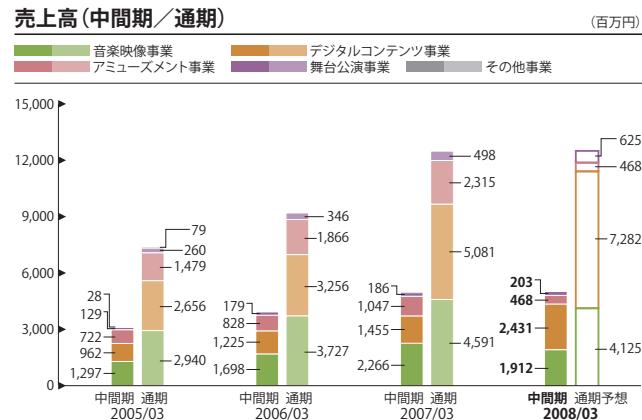
「音楽映像」「デジタルコンテンツ」「舞台公演」の 3つの事業で新たな成果

音楽映像事業では、海外への番組販売や音楽・映像配信などマスターライセンス資産の二次利用収入が増加したこと、マスターライセンス作品のDVDリピート受注が順調に推移したことなどが利益率の改善に寄与しました。デジタルコンテンツ事業では、英国子会社における欧州でのヒット作の創出が海外売上上の拡大を牽引しました。舞台公演事業では、「ミュージカル『テニスの王子様』」がコンサート公演としては過去最高となる動員を記録、前期に引き続き公演を行った「エア・ギア」もシリーズ化が期待できる順調な動員を記録し、売上増に貢献しました。

「アミューズメント事業を譲渡完了」 損益が改善し、特別利益を計上

店舗の大型化によって、出店費用やゲーム機の投資負担が増大し、収益構造が大きく変化したアミューズメント事業の、全ての店舗の譲渡を8月に完了しました。非中核事業の整理により、グループ全体の損益が改善、また、譲渡に伴う特別利益を計上しました。譲渡益を活用し、財務体質の強化を図るとともに、アニメやゲームの権利取得など本業と位置づける事業へ経営資源の投下を集中させております。

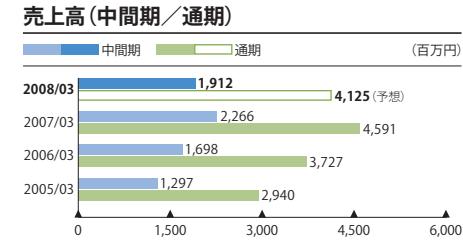
セグメント別売上高利益計画



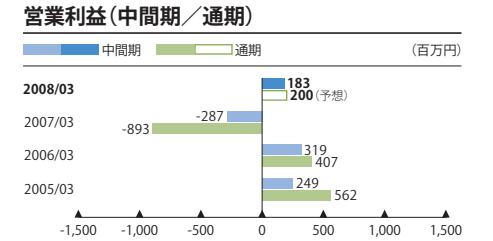
音楽映像事業



常務取締役
松本 慶明
Yoshiaki Matsumoto



Audio & Visual



音楽作品、映像作品ともに好調に推移

国内音楽ソフト市場、映像ソフト市場ともに全体として縮小傾向が続く中、音楽事業においては、アニメ「Yes!プリキュア5」主題歌や企画音楽を中心に音楽商品を編成し、好調に推移しました。また、映像事業においては、マスターライセンス取得アニメ、実写ドラマのテレビ放送や映像商品化を推進しました。さらに、「ミュージカル『テニスの王子様』」の新作公演に伴い、シリーズ旧作のDVDリピート受注が増加しました。

※マスターライセンス:ビデオ・DVD化、ゲーム化、テレビ放送、他社へのライセンス提供といった包括的な映像著作権のこと。国内外での二次利用を促進することで、パッケージ売上上にライセンスフィーが上乗せされ、将来にわたっての安定的な収益基盤となります。

マスターライセンス資産の二次利用収入が増加

「修羅の刻」「蟲師」をはじめブロードバンドへの作品提供が拡大し、配信事業の展開に手応えを得るとともに、海外への番組販売や、OVA※「テニスの王子様」をはじめとした旧作マスターライセンス作品における分配金収入など、マスターライセンス資産の二次利用収入が増加し、利益率が改善しました。

この結果、当中間期における音楽映像事業の営業成績は、連結売上高1,912百万円(前年同期比15.7%減)、連結営業利益183百万円(前年同期連結営業損失287百万円)となりました。

※OVA:Original Video Animationの略で、テレビアニメーションとは異なるオリジナルビデオ商品のこと。

TOPICS

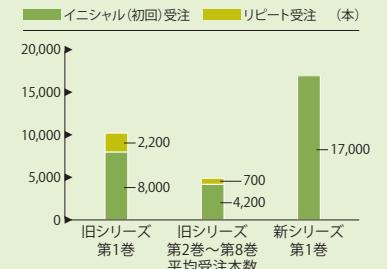


©天野明/集英社・テレビ東京・リボーン製作委員会

「家庭教師ヒットマンREBORN!」 テレビ放送、DVD、ゲームソフトに展開。

当中間期には、当社グループがマスターライセンスを保有する「家庭教師ヒットマンREBORN!」が、6月から新シリーズ「vsヴァリアー編」に突入したことを機に、DVDのリピート受注が拡大しています。また、グループ内でゲームソフトへの展開も行いました。下期に向けては、新シリーズのDVDが旧シリーズを大きく上回る受注を獲得しているほか、ゲームソフトもさらに2タイトル投入、今後の二次利用収入の拡大にも期待できます。

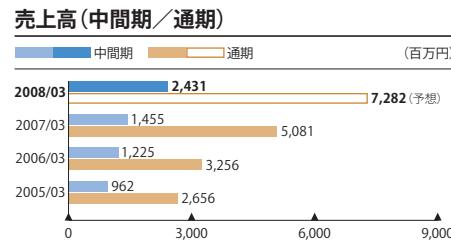
「家庭教師ヒットマンREBORN!」 DVD受注本数



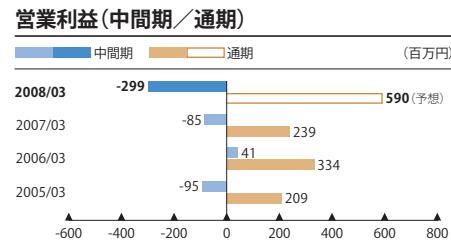
デジタルコンテンツ事業



常務取締役
和田 康宏
Yasuhiro Wada



Digital Contents



活況の国内ゲーム市場に向け、新作 14タイトルを発売

国内ゲーム市場は、ハードの販売台数が大きく拡大し、過去最高を記録した前年同期を上回るペースで推移しています。当事業においては、当社初となるWii(任天堂)向けソフトとして「名探偵コナン 追憶の幻想(ミラーージュ)」やキラータイトル「牧場物語」シリーズの最新作「牧場物語 やすらぎの樹」などを投入しました。また、ニンテンドーDS(任天堂)向けにも、当社の人気シリーズの新作「川のぬし釣り こもれびの谷のせせらぎの詩」や、プレイステーション2(ソニー・コンピュータエンタテインメント)向けには、当社グループがマスターライセンスを保有する「家庭教師ヒットマンREBORN! ドリームハイパーバトル! 死ぬ気の炎と黒き記憶」など、各プラットフォームに対応した合計14タイトルを発売しました。

英国子会社の成長、欧州での拡販体制が確立

2004年に設立した英国子会社 Rising Star Games Limitedが本格稼働しました。「牧場物語」を欧州での大ヒットに導くとともに、当社オリジナルタイトルだけでなく他社タイトルも含めた欧州での販売網を確立し、売上高は前年同期比で271%増、当中間期のグループ連結売上高の13%を占める規模まで成長しました。

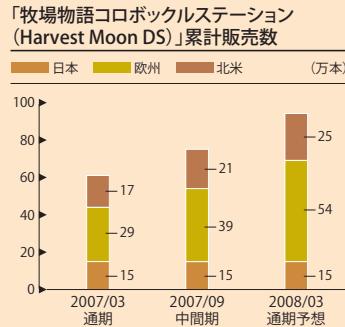
この結果、当中間期におけるデジタルコンテンツ事業の営業成績は、連結売上高 2,431百万円(前年同期比 67.1%増)、連結営業損失 299百万円(前年同期連結営業損失 85百万円)となりました。

TOPICS



メガヒットを続ける「牧場物語」シリーズ、ワールドワイドで通用するコンテンツへ成長。

「牧場物語」シリーズは、1996年の第一作目発売以来、現在まで高い人気を保つ当社のキラータイトルです。2005年3月に国内で発売された「牧場物語コロボックルステーション」の海外版である「Harvest Moon DS」は、英国子会社のRising Star Games Limitedにおいて、2007年3月に出荷を開始したニンテンドーDS(任天堂)向けゲームソフトです。欧州市場で50万本の出荷を突破した同作品は、北米市場においてもライセンス先を通じ25万本を出荷しています。

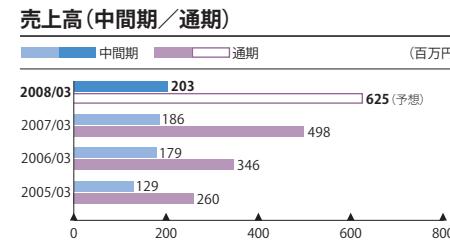


©2007 Marvelous Entertainment Inc. All Rights Reserved. ©2007 Rising Star Games Ltd. "Harvest Moon" is a registered trademark of Natsume Inc.

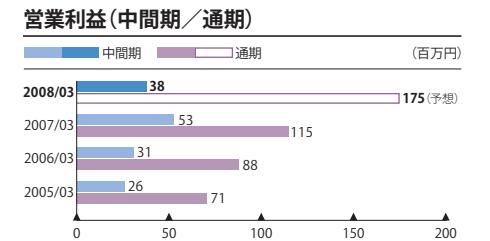
舞台公演事業



取締役
片岡 義朗
Yoshiro Kataoka



Show Business



マスターライセンスの多角的展開を軸に舞台興行を拡大展開

人気を確立した「ミュージカル『テニスの王子様』」のシリーズ公演やコンサートライブの拡大展開により、観客動員が順調に推移しました。また、新たな柱となる舞台公演の確立に向け、「ミュージカル『エア・ギア』」シリーズ、舞台「ケンコー全裸系水泳部 ウミショー」の新作公演など、合計81ステージを開催しました。さらに、舞台公演事業の拡大を図るとともに、出演アーティストの音楽・映像コンテンツへの多角的な展開を推進しました。

「ミュージカル『テニスの王子様』コンサート」が過去最高の動員を記録、「ミュージカル『エア・ギア』」のシリーズ化に期待

当中間期には、2万8千人とコンサート公演としては過去最高の観客動員を記録した「ミュージカル『テニスの王子様』コンサート Dream Live 4th」の横浜・大阪公演、前期に引き続き公演し7千人を動員した「ミュージカル『エア・ギア』vs. バッカス Super Range Remix」の東京公演を計上しました。

この結果、舞台公演事業の営業成績は、連結売上高 203百万円(前年同期比 9.0%増)、連結営業利益 38百万円(前年同期比 28.8%減)となりました。

TOPICS



「ミュージカル『テニスの王子様』」の成功、アニメ発の舞台興行という新市場を確立。

初回公演7千人動員からスタートした「ミュージカル『テニスの王子様』」は4年を経た現在では1公演当たり6万人の動員を越す規模まで成長、アニメ発の舞台興行という新たな市場を確立しました。当社グループは、この分野における先駆者として、才能ある新人タレントを発掘し、舞台や映像・音楽商品に展開するノウハウを蓄積しています。「テニスの王子様」をはじめ、ミュージカルDVDやサポーターズDVD、出演する俳優のDVDやテレビドラマ・音楽活動への展開、それらの配信への二次利用など、ジャンルを駆けグループへのシナジーを創出しています。

©許斐剛/集英社・NAS・テニスの王子様プロジェクト ©許斐剛/集英社・マーベラスエンターテインメント・ネルケプランニング

当事業の売上高と観客動員数



貸借対照表

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	期別	前中間期 '06/09/30現在	当中間期 '07/09/30現在	前期 '07/03/31現在
資産の部				
I 流動資産 Point ①		6,489,427	5,484,386	6,722,471
現金及び預金		984,209	905,713	981,735
受取手形及び売掛金		1,925,624	1,041,764	2,555,511
たな卸資産		2,315,762	2,473,828	2,059,323
前渡金		777,635	788,766	678,128
その他		498,545	287,546	464,591
貸倒引当金		△12,351	△13,232	△16,820
II 固定資産 Point ②		2,894,193	808,576	2,744,125
有形固定資産		1,653,040	219,863	1,595,555
建物		360,606	—	444,326
アミューズメント施設機器		1,170,069	—	1,021,315
その他		122,364	—	129,912
無形固定資産		435,698	363,938	394,852
のれん		317,926	247,276	282,601
その他		117,772	116,662	112,251
投資その他の資産		805,454	224,774	753,717
敷金保証金		361,545	161,394	374,446
その他		444,410	63,631	379,521
貸倒引当金		△501	△250	△250
資産合計 Point ③		9,383,621	6,292,963	9,466,596

Point ① 流動資産… デジタルコンテンツの制作費などたな卸資産が414百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,513百万円減少したことなどにより、5,484百万円(前連結会計年度末比18.4%減)となりました。

Point ② 固定資産… アミューズメント事業の売却などにより、有形固定資産が1,375百万円、敷金保証金が213百万円、投資その他の資産のその他に含まれる建設協力金が316百万円それぞれ減少したことなどにより、808百万円(前連結会計年度末比70.5%減)となりました。

Point ③ 資産合計… 6,292百万円(前連結会計年度末比33.5%減)となりました。

科目	期別	前中間期 '06/09/30現在	当中間期 '07/09/30現在	前期 '07/03/31現在
負債の部				
I 流動負債 Point ④		6,133,173	3,408,778	7,117,558
買掛金		1,023,862	603,062	1,025,006
短期借入金		2,600,000	1,123,792	3,200,408
一年以内返済予定の長期借入金		20,231	18,153	18,700
未払金		1,312,730	540,157	1,448,827
未払印税		675,818	695,067	850,001
未払法人税等		25,704	64,261	81,702
前受金		355,740	221,516	302,365
賞与引当金		82,633	70,150	48,391
その他		36,452	72,617	142,153
II 固定負債 Point ⑤		441,353	415,982	433,107
長期借入金		433,264	415,463	424,265
預り保証金		8,088	519	8,842
負債合計 Point ⑥		6,574,526	3,824,761	7,550,665
純資産の部				
I 株主資本		2,776,266	2,360,346	1,842,266
資本金		878,539	878,539	878,539
資本剰余金		880,059	880,059	880,059
利益剰余金		1,017,667	601,747	83,667
II 評価・換算差額等		6,862	12,524	14,214
為替換算調整勘定		6,862	12,524	14,214
III 少数株主持分		25,966	95,331	59,449
純資産合計 Point ⑦		2,809,094	2,468,202	1,915,930
負債純資産合計		9,383,621	6,292,963	9,466,596

Point ④ 流動負債… 事業再編に伴う財務体質の強化などにより、短期借入金金が2,076百万円、買掛金が421百万円、未払金が908百万円それぞれ減少したことなどにより、3,408百万円(前連結会計年度末比52.1%減)となりました。

Point ⑤ 固定負債… 415百万円(前連結会計年度末比4.0%減)となりました。

Point ⑥ 負債合計… 3,824百万円(前連結会計年度末比49.3%減)となりました。

Point ⑦ 純資産合計… 当期純利益518百万円を計上したことから、2,468百万円(前連結会計年度末比28.8%増)となりました。

損益計算書

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	期別	前中間期 '06/04/01~ '06/09/30	当中間期 '07/04/01~ '07/09/30	前期 '06/04/01~ '07/03/31
売上高		4,956,153	5,016,259	12,487,743
売上原価		4,105,470	4,044,922	10,506,890
売上総利益		850,682	971,337	1,980,852
販売費及び一般管理費		1,428,242	1,336,142	3,033,255
営業損失(△)		△577,560	△364,805	△1,052,402
営業外収益		37,651	20,955	45,331
営業外費用		17,536	24,814	46,918
経常損失(△)		△557,444	△368,664	△1,053,989
特別利益		59,832	977,077	98,950
特別損失		33,664	21,801	369,547
税金等調整前中期純利益 又は税金等調整前中期(当期) 純損失(△)		△531,276	586,610	△1,324,586
法人税、住民税及び事業税		5,879	32,648	111,871
法人税等調整額		60,688	—	61,903
少数株主利益又は損失(△)		△5,906	35,882	27,577
中間純利益 又は中間(当期)純損失(△)		△591,937	518,080	△1,525,938

株主資本等変動計算書('07/04/01~'07/09/30)

(単位:千円、単位未満切り捨て)

	株主資本				評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
2007年3月31日 残高	878,539	880,059	83,667	1,842,266	14,214	14,214	59,449	1,915,930
中間連結会計期間中の変動額								
中間純利益			518,080	518,080				518,080
株主資本以外の項目の 中間連結会計年度中の変動額(純額)					△1,690	△1,690	35,882	34,191
中間連結会計年度中の変動額合計	—	—	518,080	518,080	△1,690	△1,690	35,882	552,271
2007年9月30日 残高	878,539	880,059	601,747	2,360,346	12,524	12,524	95,331	2,468,202

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円、単位未満切り捨て)

科目	期別	前中間期 '06/04/01~ '06/09/30	当中間期 '07/04/01~ '07/09/30	前期 '06/04/01~ '07/03/31
営業活動による キャッシュ・フロー	Point ①	△768,085	△627,381	△657,625
投資活動による キャッシュ・フロー	Point ②	△1,177,070	2,639,289	△1,886,014
財務活動による キャッシュ・フロー	Point ③	2,149,749	△2,086,240	2,739,462
現金及び現金同等物に係る換算差額		5,129	△1,690	11,426
現金及び現金同等物の増加(減少△)額		209,723	△76,022	207,249
現金及び現金同等物の期首残高		774,486	981,735	774,486
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		984,209	905,713	981,735

Point ① 営業活動によるキャッシュ・フロー… 前年同期と比べ利益が改善したものの、デジタルコンテンツの制作費が先行して発生したことなどにより、使用した資金は627百万円(前年同期に使用した資金は768百万円)となりました。

Point ② 投資活動によるキャッシュ・フロー… 主にアミューズメント事業の一部を分社化し、当該連結子会社株式を売却したことによる収入と、残りのアミューズメント事業の譲渡による収入などにより、得られた資金は2,639百万円(前年同期に使用した資金は1,177百万円)となりました。

Point ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー… 投資活動の結果得られた資金を、主に短期借入金の返済に充てたことにより、使用した資金は2,086百万円(前年同期に得られた資金は2,149百万円)となりました。

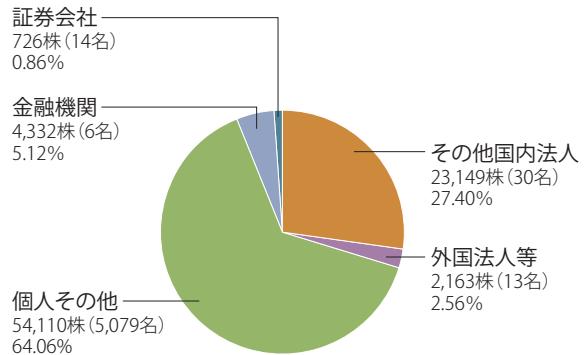
会社の状況 (2007年9月30日現在)

発行済株式の総数 84,480株
 当期末株主総数 5,142名

大株主の状況(上位10位) (2007年9月30日現在)

株主名	所有株式数の割合(%)
株式会社アミューズキャピタルインベストメント	21.78
中山晴喜	19.54
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2.25
日本生命保険相互会社	1.89
株式会社ポニーキャニオンエンタープライズ	1.89
みずほキャピタル株式会社	1.42
吉田正樹	1.18
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1.01
松本慶明	0.97
株式会社ムービック	0.95
株式会社東北新社	0.95

株式所有状況 (2007年9月30日現在)



会社概要 | Corporate Profile

会社名 株式会社 マーベラスエンターテイメント
 設立 1997年6月25日
 資本金 878,539,636円
 本社所在地 〒150-6027東京都渋谷区恵比寿 4-20-3
 恵比寿ガーデンプレイスタワー27F
 TEL:03-5793-9170 (代表)
 FAX:03-5793-9172 (代表)
 事業内容 音楽・映像・ゲームソフトの企画・制作・販売、
 劇場演芸の興行他

従業員数 158名(連結)72名(単体)
 連結子会社 株式会社デルファイサウンド
 株式会社アートランド
 株式会社ランタイム
 Rising Star Games Limited
 Marvelous Entertainment USA, Inc.

役員
 代表取締役 中山 晴喜
 常務取締役 松本 慶明
 常務取締役 青木 利則
 常務取締役 和田 康宏
 取締役 佐野 信行
 取締役 片岡 義朗
 常勤監査役 瀧華 治雄
 監査役 西村 勝彦
 監査役 山崎 卓也

(2007年9月30日現在)

株主優待の
ご案内

実施対象
 最低必要株式数
 基準日
 種類
 優待内容

2008年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主様
 1株
 3月31日
 自社製品
 当社グループ商品(CD、DVD、ゲームソフト、ミュージカルチケット等)

1~4株

所有株式数1株~4株の株主様に対して下記CDまたはゲームソフトより1商品を贈呈いたします。



CD
 「プリキュア5 スマイル go go! / キラキラしちゃって My True Love!」
 ©ABC・東映アニメーション



ゲームソフト(PlayStation2)
 「牧场物語3 PS2 the Best ~ハートに火をつけて~」
 ©2007 Marvelous Entertainment Inc. All Rights Reserved.

5~9株

所有株式数5株~9株の株主様に対して下記DVDまたはゲームソフト+株主優待限定クオカードを贈呈いたします。



DVD
 「せかいのえほん」
 ©1993 NordSud VerlagAG
 ©2005 NHKエンタープライズ/マーベラスエンターテイメント



ゲームソフト(PlayStation2)
 「牧场物語3 PS2 the Best ~ハートに火をつけて~」
 ©2007 Marvelous Entertainment Inc. All Rights Reserved.



株主優待限定クオカード(500円分)
 ©2007 Marvelous Entertainment Inc. All Rights Reserved.

10~19株

所有株式数10株~19株の株主様に対して下記DVDまたはゲームソフトより1商品を贈呈いたします。



DVD
 「せかいのえほん」
 ©1993 NordSud VerlagAG
 ©2005 NHKエンタープライズ/マーベラスエンターテイメント



DVD
 「家庭教師ヒットマンREBORN!」
 ©天野明/集英社・テレビ東京・リボーン製作委員会



株主優待限定クオカード(1000円分)
 ©2007 Marvelous Entertainment Inc. All Rights Reserved.



ゲームソフト(ニンテンドーDS)
 「牧场物語 キミと育つ島」
 ©2007 Marvelous Entertainment Inc. All Rights Reserved.

20株以上

所有株式数20株以上の株主様に対して下記DVDまたはゲームソフトより1商品、もしくは弊社主催ミュージカルペアチケットを贈呈いたします。(ミュージカルの詳細につきましては、対象の株主様に別途詳細をご案内させていただきます。)
 ※DVDまたはゲームソフトには株主優待限定クオカードを贈呈いたします。

弊社主催
 ミュージカル
 「ミュージカル『テニスの王子様』ペアチケット



DVD
 「家庭教師ヒットマンREBORN!」
 ©天野明/集英社・テレビ東京・リボーン製作委員会



ゲームソフト(ニンテンドーDS)
 「牧场物語 キミと育つ島」
 ©2007 Marvelous Entertainment Inc. All Rights Reserved.



株主優待限定クオカード(1000円分)
 ©2007 Marvelous Entertainment Inc. All Rights Reserved.



株主優待限定クオカード(1000円分)
 ©2007 Marvelous Entertainment Inc. All Rights Reserved.

※優待内容および写真は2007年3月期の実施例です。

株主メモ

- 決算期 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 毎年3月31日
- 株主確定日 毎年3月31日
なお、中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
- 公告方法 電子公告により行います。但し、電子公告によることができない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
(URL : <http://www.mmv.co.jp>)
- 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜4丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内1丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (お問い合わせ先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先) (住所変更用紙のご請求) 0120-175-417
(その他ご照会) 0120-176-417
- ホームページ <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 同取次所 住友信託銀行株式会社本店および全国各支店

株式会社 マーベラスエンターテイメント

〒150-6027

東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー27F

TEL:03-5793-9170 (代表)

FAX:03-5793-9172 (代表)

Information

IRサイトのご案内

マーベラスエンターテイメントグループは、ウェブサイトにて即時情報開示に努めています。ぜひご覧ください。



<http://www.mmv.co.jp>



- 適切に管理された森林から伐採された木材を原料とするFSC認証紙を使用しています。
- 環境負荷の少ない、植物性大豆油インキを使用し、水無し印刷で印刷しています。